

平成 28 年度事業報告書

特定非営利活動法人ひょうたんカフェ

I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人ひょうたんカフェは、障害者や高齢者を中心に地域で暮らすさまざまな世代の人々が互いに出会い交流する機会を積極的に作り出し、人と人がつながりあうことの喜びを誰もが感じあえる社会づくりに寄与することを目的として、前年度に引き続き次のような事業を実施した。

本法人の定款第 5 条第 1 項②の障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業として「生活介護事業」「就労継続支援 B 型事業」「ヘルパー事業（居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護）」を、同項③の障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業として「ヘルパー事業（名古屋市移動支援）」を、同項⑥のものづくり・文化活動を通じた多世代交流事業として「地域福祉事業」を、それぞれ実施した。

＜法人全体として今年度の振り返り＞

- * 日中活動の新しい利用者は、特別支援学校高等部の新卒で利用開始した方が B 型で 1 名、生活介護事業で 1 名、他事業所からの移動で生活介護を週 5 日利用する方が 1 名増加した。ヘルパー事業でも数名の新たな利用者の支援を開始した。
- * スタッフの体制は、常勤スタッフは前年度から増減なく、非常勤スタッフはデザイン専門職スタッフ（週 1 日勤務）1 名と縫製スタッフ（不定期）1 名が増えた。
- * 就労継続支援 B 型の開始から 2 年目となり、前年度以上の工賃を支給できるよう各班で目標設定を行い取り組んだ。また、年数回の工賃会議を開催し進捗状況の管理・共有を図った。結果として、売上総額で対前年度比約 40% 増、工賃支給額で約 26% 増という実績を上げることができた。
- * 法人設立から 10 周年を迎え、年度初めのゴールデンウィークに記念イベントとして「ひょうたんカフェクラフト展」を国際デザインセンター（ナディアパーク）にて開催した。また、8 月に記念イベント第二弾として「夏の 1 Day ワークショップ」をひょうたんカフェにて開催、10 月には日中活動の利用者とスタッフ・ボランティアで 10 周年記念パーティー（ローズコートホテルにて）を企画した。さらに、記念事業として 10 周年記念誌を制作した。
- * 今年度は、法人の中長期ビジョンについての話し合いの機会を理事会で複数回持った。また、スタッフ全体研修で「ひょうたんカフェが次の 10 年間で Happy に生き延びるためには何が必要か?!」というテーマで話し合いを行い、今後の方向性について考える機会をもった。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

- 1) 生活介護事業(定款第 5 条 1 項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業) **デイセンターひょうたんカフェ * 平成24年1月1日事業開始(指定生活介護事業・定員 15 名※平成 27 年 4 月 1 日定員変更)**

＜活動内容＞

利用者の社会参加につながるような「その人らしい豊かな生き方」を実感できる場、また様々な理由により居場所のない方の日中活動の場となることを目的に実施した。名古屋市の生活介護事業者指定を受け、別途定める運営規定にしたがって①ライブプログラム②アトリエプログラム③ワークプログラムなどのサービス提供を行った。

＜今年度の概況＞

さをり織りを活動の中心プログラムとしながら、個別支援計画に基づいた個別対応として喫茶や買い物の外出等も実施。障害内容や利用頻度も様々な利用者さんの個別のニーズに出来る限り応えられるよう努力した。

＜アトリエプログラム＞

織りの活動を中心として、個々の興味に応じて絵画や刺繍などにも取り組めるよう環境整備を行った。4 月に開催した法人 10 周年記念イベント「ひょうたんカフェクラフト展」ではパネルや作品を展示し、日

頃の活動を広く社会にアピールした。その他の成果発表として、11月に「あいちアール・ブリュット展」に12月に「第6回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」に、3月に「ポコラート全国公募 vol.7」に、それぞれ数名の利用者の方の絵画を出展した。

<ワークプログラム>

B型のクラフト班の動きと連動した作業提案や、それぞれの織りを自ら記録できるよう取り組むなど、個々の意欲を引き出すような支援を心掛けた。また、今年度からYWC Aでの販売活動に生活介護の利用者さん1名が定期的に参加している。ワークプログラムの利用者の方には、工賃支払規定に基づき毎月工賃を支給した。

<ライフプログラム>

従来からのヨガプログラム（月1回）に加えて、スイーツプログラム（月1回）が定着している。スイーツプログラムでは、利用者の方数名で事前ミーティングを行い作りたいものを決定している。また6月、7月には日帰り旅行（行先：アクアイグニス）を実施した。

<デイセンターひょうたんカフェ利用実績・実習生受入れ実績>

月	活動日数(日)	延べ利用者数 (人)	実利用者数 (人)	平均利用者数 /日	実習生受入れ 述べ人数(人)
4月	21	233	23	11	0
5月	21	197	23	9	0
6月	24	234	22	10	10
7月	22	224	23	10	2
8月	24	204	21	10	2
9月	22	222	21	10	0
10月	22	214	21	10	5
11月	22	226	21	10	0
12月	20	202	21	10	0
29年/1月	20	189	21	9	0
2月	22	219	22	10	3
3月	22	243	23	11	0

2) 就労継続支援B型事業(定款第5条1項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業)ワークセンターひょうたんカフェ(指定就労継続支援 B 型事業・定員15名)※平成27年4月1日事業開始

<活動内容>

就労継続支援 B 型事業者指定を受け、別途定める運営規定にしたがって利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難な者に対して、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、研修の提供を行った。従来のフード班・クラフト班に分かれた自主生産事業に加えて、今年度から織りとPC入力での請負作業にも取り組んでいる。

<利用者支援について>

1階工房（フード班）で6名、2階アトリエ（クラフト班）で7名の利用者が活動。前年度に引き続き毎日朝礼や夕礼を開くほか、今年度からクラフト班ではひとりひとりの織りの記録を、フード班では毎日の終業時にその日に取り組んだ作業内容を自ら記録することで、利用者が自らの仕事や役割を意識できるように支援した。全体としての「利用者学習会」は今年度開催できなかったが、名古屋市主催の就労支援説明会に利用者2名とスタッフで参加（8月）、また個別面談時に将来のことについて話をするなど、自立にむけての意識づけを日頃の支援の中で心掛けた。研修旅行（行先：鈴鹿サーキット）を11月に実施。研修旅行は利用者の中から選んだ実行委員での会議を重ね、行き先の決定やしおりづくりなど主体的に取り組めるよう支援した。また請負作業（織り、PC入力）に新たに取り組んだことで、利用者の能力開発にもつながった。

<工賃支給について>

昨年度新たに作った工賃規定に従い、工賃評価シートを活用して個々の工賃支払を行った。今年度の支払い実績は、月額平均20,521円を13名に対して支給。(平成27年度は月額平均17,926円を12名に対して支給。支給総額対前年度比126%)

<製造・販売活動について>

①クラフト班

今年度は、製造商品の付加価値を意識した販売先・提携先を開拓・確保できたことが大きな売上増につながった。(売上総額約530万円、対前年度比170%) 具体的には、前年度に引き続き「マジェルカ」(東京で障害者施設の雑貨を扱う店舗)と契約して卸販売を行うほか、「クリエイターズショップ・ループ第9期(クリエイター創業支援スペース)」に採択され、年間を通じて国際デザインセンター4階店舗にて常設販売の場を持つことができた。また、オーダーメイド受注による製造や、一宮・有松等の地場産業とのコラボレーションを模索し商品化につなげることで、製造商品の幅を広げたり新たな顧客を増やすことができた。

●作品展・イベントへの出展実績

4月	◎最も自由な人たち(4/2) ◎東別院ホール販売(4/17) ◎クラフト展 in ナディアパーク(4/27~5/2)
5月	◎フェアトレードデイ名古屋(5/7)、ラエール祭(5/22)
6月	◎やっちゃんち作品展(6/6~10)、◎旗屋学区バザー(6/26)
7月	◎オアシス七夕販売(7/7) ◎岐阜信販販売(7/13)
8月	◎夏の1day ワークショップ(8/20) ◎熱田イオン「あったま〜る」(8/23)
9月	◎明治安田生命 MO-YA-CO(9/16) ◎東邦高校学園祭(9/23、24) ◎なやばし夜市(9/23、24)
10月	◎YWCAバザー(10/7)、◎中村区民まつり(10/22) ◎丸の内マルシェ(10/22、23)
11月	◎べにしだ祭(11/3) ◎同朋大大学祭(11/5) ◎フライングディスク大会(11/6) ◎稲葉地ムクワクマーケット(11/12) ◎蝶の舞う日(11/19、20) ◎ゾンネ作品展(11/5~12/2)
12月	◎障害者ワークフェア(12/9) ◎美濃幸作品展(12/15~12/19)
1月	◎ひょうたんバザール(1/21)
2月	◎ジネンカフェ(2/19) ◎ムクワクマーケット(2/25) ◎RDD2017(2/26)
3月	◎寿々記念イベント(3/5) ◎明治安田生命 MO-YA-CO(3/10) ◎なやばし夜市(3/25)

●主な定期販売先・東別院手づくり市

●取扱い先

マジェルカ(東京・吉祥寺 雑貨屋)、エイブルアートカンパニー(奈良・Good Jobセンター)、きもの美濃幸(名古屋・中村)、3331 ARTS CYD(東京・秋葉原)、かわら美術館(愛知・高浜市)、アールマテリアル(一宮)、デザインセンター・ループ(名古屋・ナディアパーク)、てのり(名古屋・本山)、アトリエらぼ(長崎)、おのまとペ(青森)、はあとフレンズストア(京都)、リムセ(ネットショップ)、tane(名古屋・覚王山)、ぼんめこのこ(名古屋・中村)、えんとみ(名古屋・中川)、ガーデンカフェやっちゃんち(名古屋・八事)、ほっこりマッサージ(愛知・碧南)、お家そらみどりむし(名古屋・瑞穂)、SAORI COOP(大阪)、SAORI 名古屋(名古屋・中区)、Curely(名古屋・中村)、ユートピア若宮(愛知・豊田)

②フード班

前年度までの製造・販売活動を維持しつつ、ひとつひとつのイベントや販売先ごとに商品構成に工夫をするなど、同じ枠組みの中でも前年度以上の売上を出していくことに意識して取り組んだ。(総売上額約830万円、対前年度比113%) 売上の約半分を占める「おからドーナツ」については、レシピを改良したり生地を作る担当の利用者の習熟度が増したことで、商品の質も安定してきている。また小麦粉と油の仕入先を変更する等、原価率を下げる努力をしたことでフード全体の原価率を45%(H27年度)から41%に下げることができた。販売管理ソフトを導入して販売先ごとの売上を管理したり、毎月末の棚卸しを定着させることで販売管理・原価管理に対する意識向上を図った。

●主な定期販売・配達先

東別院手づくり市、西養護学校、名身連、名古屋YWCA、佐織特別支援学校、ガーデンカフェやっちゃんち、わっぱん、熱田いきいきサロン、金山居宅、日吉保育園

●卸し先・・・市江さん（魚や）、あいのう天白店、shizuku

●イベント等出展実績（不定期）

4月	◎最も自由な人たち（4/2）◎東別院ホール販売（4/17）
5月	◎フェアドレードデイ名古屋（5/7）◎ラエール祭（5/22）
6月	◎やっちゃんち販売会（6/11）◎旗屋学区バザー（6/26）
7月	◎オアシス七夕イベント（7/7）◎岐阜信販売（7/13）◎大門夏祭り（7/21） ◎覚王山 tane 出張カフェ（7/31）
8月	◎夏の1day ワークショップ（8/20）◎熱田イオン「あったま〜る」（8/23）
9月	◎明治安田生命 MO-YA-CO（9/16）◎東邦高校学園祭（9/23、24） ◎なやばし夜市（9/23、24）
10月	◎YWCAバザー（10/7）、◎セラム中村販売（10/15） ◎中村区民まつり（10/22）
11月	◎多治見ワインフェス（11/3）◎べにしだ祭（11/3）◎西養護フェス（11/5） ◎同朋大大学祭（11/5）◎フライングディスク大会（11/6）◎稲葉地ムクワクマーケット（11/12）◎蝶の舞う日（11/19、20）
12月	◎障害者ワークフェア（12/9）◎やっちゃんちクリスマス会（12/10）
1月	◎ひょうたんバザール（1/21）
2月	◎ジネンカフェ（2/19）◎ムクワクマーケット（2/25）◎RDD2017（2/26）
3月	◎寿々記念イベント（3/5）◎明治安田生命 MO-YA-CO（3/10）◎なやばし夜市（3/25）

③請負作業

織りの下請け作業（株）L.F.Cから受託）と会計伝票のPC入力作業（株）モリトクから受託）を「請負作業」として新たに位置づけて取り組んだ。織りの下請け作業にはクラフト班の数名が、PC入力作業にはフード班の1名が、それぞれ自主生産事業と並行しながら従事した。（売上総額約47万円）

<ワークセンターひょうたんカフェ利用実績・実習生受入れ実績>

月	活動日数（日）	延べ利用者数（人）	実利用者数（人）	平均利用者数／日	実習生受入れ述べ人数（人）
4月	22	258	13	12	0
5月	21	251	13	12	0
6月	22	280	13	13	0
7月	21	245	13	12	2
8月	23	260	13	11	14
9月	21	250	13	12	0
10月	21	249	13	11	0
11月	22	269	13	12	10
12月	22	241	13	11	0
29年/1月	20	222	13	11	0
2月	20	250	13	13	0
3月	22	279	13	13	4

3)ヘルパー事業

(定款第5条1項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業及び定款第5条1項③障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく地域生活支援事業)

ヘルパーセンターらいぶ☆YOU(居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護事業・移動支援事業)

<活動内容・今年度の概況>

名古屋市移動支援の利用実績・報酬額はここ数年横ばいだが、居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護は利用実績、報酬額ともに伸びている。長く在籍していた登録ヘルパーのうち約2名が退職又は稼働を減らすという状況変化はあったものの、他の登録ヘルパーは定着していること、日中事業との兼務者を適宜ヘルパー配置することで、これまでの利用者ニーズを断ることなくさらに新たなニーズにも対応することが可能となっている。ヘルパー1名が、雪の日に利用者宅へ向かう途中で転倒して手首を骨折するという事故があったが、その他は大きな事故やトラブルはなかった。兼務スタッフ1名が重度訪問介護従業者養成研修に参加した。(2月)

<会議・学習会について>

日時	参加者数	内容
平成28年4月12日(火)	9名	事業所の現況、ケース検討、てんかん発作時対応について
平成28年5月10日(火)	8名	ケース検討
平成28年6月14日(火)	9名	ケース検討、べにしだの家との連絡会議
平成28年7月14日(火)	9名	ケース検討
平成28年8月9日(火)	5名	ケース検討、精神障害ってなんだろう?
平成28年9月13日(火)	9名	ケース検討
平成28年10月11日(火)	6名	ケース検討、
平成28年11月8日(火)	8名	ケース検討
平成28年12月6日(火)	8名	ケース検討
平成29年1月10日(火)	4名	ケース検討
平成29年2月14日(火)	6名	ケース検討
平成29年3月14日(火)	6名	ケース検討
平成29年3月11日(土)		スタッフ合同研修「いろいろな角度から<障がい>について考えてみましょう!」講師:同朋大学社会福祉学部 下山久之先生

<利用実績/内訳>

全体		移動支援		居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護		私的サービス	
月	人数	人数	時間数	人数	時間数	人数	時間数
4	56	37	815	18	507.5	1	11.5
5	54	37	777.5	16	499.5	1	10.5
6	58	40	792.75	17	478.5	1	10
7	56	39	784.25	16	479.5	1	11.5
8	55	37	679.75	17	400	1	11.0
9	56	38	774.75	17	452.5	1	9.5
10	56	38	769.25	17	449.5	1	11.5
11	53	37	780.5	15	468.5	1	10
12	55	37	741	17	421.5	1	11
1	51	34	633.25	16	357	1	11
2	53	36	682.75	16	378.5	1	8.5
3	56	37	736.5	18	419.5	1	9

4) 研修について(福祉サービス事業共通で実施)

＜平成 28 年度事業所内研修＞

開催日	内容	対象者
＜第 1 回＞ 平成 28 年 4 月 23 日(土)	●ブレインストーミング形式の全員参加型会議 テーマ「ひょうたんカフェが次の 10 年間で Happy に生き延びるためには何が必要か?！」	デイセンター、ワークセンタースタッフ
＜第 2 回＞ 平成 28 年 10 月 1 日 (土)	●研修報告会 (発表者：内田、片岡、池川、三島、橋本)	デイセンター、ワークセンタースタッフ
＜第 3 回＞ 平成 29 年 3 月 11 日 (土)	●講演「いろいろな角度から障がいについて考えてみましょう！」 (講師:同朋大学 下山 久之氏)	デイセンター、ワークセンター、ヘルパーセンタースタッフ

＜平成 28 年度事業所外研修への派遣等＞

派遣月日	研修名	参加者
平成 28 年 4 月 25 日	●「特別支援学校等卒後対策連絡協議会・ティンクルなごやでの取り組みについて」	デイセンター主任スタッフ 1 名
平成 28 年 6 月 24 日	●「特別支援学校等卒後対策連絡協議会全体会」	デイセンター主任スタッフ 1 名
平成 28 年 7 月 15 日	●「障がい者の働く場パワーアップフォーラム：福岡会場」(主催：ヤマト福祉財団)	ワークセンタースタッフ 1 名
平成 28 年 7 月 22 日	●「障害者の働く場パワーアップフォーラム：大阪会場」(主催：ヤマト福祉財団)	デイセンタースタッフ 1 名
平成 28 年 7 月 29 日	●「障害者の働く場パワーアップフォーラム：東京会場」(主催：ヤマト福祉財団)	ワークセンタースタッフ 1 名
平成 28 年 8 月 16 日	●「日本財団 CANPAN・NPO フォーラム 1 日限りのサマースクール～共創社会だから価値にこだわる！」(主催：日本財団)	代表理事 1 名
平成 28 年 9 月 12 日	●「障害分野別研修(身体)当事者の思いに耳を傾ける。本人のエンパワメントと障害者差別解消法」(主催：名古屋市社協社会福祉研修センター)	デイセンタースタッフ 1 名
平成 28 年 9 月 16 日	●共通研修「救急救命研修(普通)」(主催：名古屋市社協社会福祉研修センター)	デイセンタースタッフ 1 名
平成 28 年 12 月 12 日 13 日	●サービス管理責任者研修「第三分野：地域生活(知的・精神)」(主催：愛知県)	ヘルパーセンター管理者 1 名
平成 28 年 11 月～ 平成 29 年 2 月	●「愛知県工賃向上研修」(主催：愛知県)(全 3 日間) (主催：名古屋市社協社会福祉研修センター)	ワークセンター主任スタッフ 1 名
平成 29 年 2 月	●「重度訪問介護従業者養成研修」主催：AJU 自立の家(3 日間)	ヘルパーセンタースタッフ 1 名
平成 29 年 2 月 16 日 17 日	●「サービス管理責任者フォローアップ研修」(主催：愛知県)	デイセンター主任スタッフ 1 名

5) 地域福祉事業(定款第 5 条(1)の⑥ものづくり・文化活動を通じた多世代交流事業)

障がい者福祉の啓発をはじめ広く福祉のこころを育て、みんなで支えあう地域づくりの一助となることを目的として実施。地域に向けたイベントやワークショップの開催、障害者アートイベントへの出展・参加、ボランティアや実習生の受け入れ、大学等への講師派遣やオープンキャンパスへの参加など、様々な形で社会への発信を行った。

① 福祉イベント活動

＜ひょうたんバザール＞

- 日時：平成 29 年 1 月 21 日 10 時～15 時 (ボランティア 9 名参加)
- 内容：バザールカフェ、クラフト作品販売、織り体験ワークショップ、豆腐・ドーナツ等販売
ミニフリーマーケット
- 売上金額： 344,490 円(総額)

<ワークショップ (WS) 実施実績>

月	延人数	ワークショップ場所・内容
4月		●さをりオアシスイベント協力参加 (4/24)
6月	1	●やっちゃんち織り WS
7月	6	●椛山大オープンキャンパス織り WS (7/10) ●ループ織り WS (7/22)
8月	43	●椛山大オープンキャンパス織り WS (8/10.11) ●夏の1Dayワークショップ (織り・豆腐づくり WS、ひょうたんカフェにて、8/20) ●あったまーるイベント織り WS (熱田イオンにて、8/24)
9月	0	●椛山大オープンキャンパス織り WS (9/11)
10月	20	●荒輪井保育園ぶどう組卒園記念 WS
11月	44	●蝶の舞う日・織り WS (11/19.20、リテイルビルにて)
12月	29	●第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会・障害者ワークフェア WS (12/9~11) ●Shizuku 織り WS (12/18) ●ループ織り WS (12/23)
1月	21	●ひょうたんバザール WS (1/21)

<その他イベント・プロジェクトへの参加>

- SOMPO パラリンアートサッカーアートコンテスト1次審査通過1名(9月)
- 覚王山参道ミュージアム(AAM企画)(10/28~11/5)
- あいちアール・ブリュット展2名出展(11月)
- 第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会3名出展(12月)
- Good Job! Award 2017 グランプリ受賞 (2月)
- ポコラート全国公募 Vol.7 出展2名(3月)

② 人材育成活動

<ボランティア受け入れ実績>

月	延人数	内容
4月	26	ヨガ、さをり仕立て縫製、クラフト展
5月	13	ヨガ、さをり仕立て縫製、クラフト展
6月	14	ヨガ、さをり仕立て縫製
7月	16	ヨガ、さをり仕立て縫製
8月	12	ヨガ、さをり仕立て縫製、1DAYワークショップ
9月	12	ヨガ、さをり仕立て縫製
10月	9	ヨガ、さをり仕立て縫製
11月	14	ヨガ、さをり仕立て縫製、多治見ワインフェスタ、蝶の舞う日出店販売 就労継続支援B型研修旅行
12月	4	ヨガ、さをり仕立て縫製
1月	16	ヨガ、さをり仕立て縫製、ひょうたんバザール
2月	7	ヨガ、さをり仕立て縫製
3月	13	ヨガ、さをり仕立て縫製
合計数	156	

*上記以外・・・中高生夏休みボランティアの受け入れ(7月)・・・1名×3日間コース(延べ3名)

<福祉実習生受け入れ実績>

- 名古屋芸術大学(保育実習) 1名×9日間(延べ9名)(5月9日~19日)
- 名古屋こども専門学校(保育実習) 1名×10日間(延べ10名)(8月18日~31日)
- 椛山女学園大学(社会福祉士実習) 1名×23日間(延べ23名)(9月1日~10月5日)
- 同朋大学(介護福祉士実習) 2名×12日間(延べ24名)(2月15日~3月3日)

③ 地域福祉ネットワーク活動

< 講座講師派遣 > ●日本福祉大学ゲスト講師・・・11月29日（火）

< さをりふれあい事業実績数 >

月	延べ参加者総数（人）	月	延べ参加者総数（人）
4月	1	10月	4
5月	6	11月	4
6月	2	12月	5
7月	0	1月	2
8月	4	2月	6
9月	2	3月	4

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

< 総会 >

① 開催日時及び場所

平成28年5月21日（土）13時30分～15：30 ひょうたんカフェにて

② 議題 / ・平成27年度事業報告・収支決算報告・監査報告

・平成28年度事業計画及び収支予算書報告 ・役員改選について

< 理事会 >

開催日時	議題・審議事項
第1回理事会 平成28年8月6日（土） 午後3時30分～午後5時30分	◎平成28年度中間決算報告 ◎平成28年度中間事業報告
第2回理事会 平成29年3月31日（金） 午後5時～午後7時	◎平成28年度決算（仮）報告 ◎平成28年度事業報告 ◎平成29年度予算 ◎平成29年度事業計画

Ⅳ. その他

① 事務局業務について

事業推進のために必要な法人事務、経理、労務、広報などの業務を行った。法人設立10周年記念事業として、記念誌を発行した。

② 助成金交付

前年度に引き続き、「名古屋市福祉人材育成支援事業助成」を活用し、職員の資格取得に対する費用の助成を受けた。また、労働局キャリアアップ助成金を活用して非常勤職員1名を常勤として採用した。Good Job! Award 2017に応募しグランプリを受賞、賞金を受け取った。

支給決定日	助成団体等	助成金額	用途
平成28年7月22日	愛知労働局キャリアアップ助成金	500,000円	事業費
平成28年12月20日	愛知県共同募金会	22,000円	クリスマス会費用
平成29年2月26日	Good Job!プロジェクト	105,000円	就労支援事業備品整備
平成29年3月15日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	37,500円	資格取得費用
合計		664,500円	